



まちづくりのこれからを考える

市民と行政の基本的なあり方(理念)

(1) 市民は地域のオーナーとしてまちづくりに参画し成功と誇りを獲得します。

- 市民はまちのオーナーであるという自覚を持ち、限られた資源を有効に活用できる地域社会を考えていきます。
- 市民は、新市に対し何が出来るかを考え、まちづくりに積極的に参画していき、成功と誇りを獲得します。

(2) 行政は、常に市民の声に耳を傾け、生活者の視点でまちづくりに取り組みます。

- 国に依存した行政から脱却し、自己決定、自己責任のもと、より一層市民本位に視点を転換していく必要があります。
- 行政は、市民の成功と誇りの獲得のために企画能力や専門能力等の向上を図る努力を行います。
- 行政は、オーナーである市民が、性別や年齢にとらわれず地域経営に積極的に参加できるように、適切に情報を提供し、コミュニケーションの場や仕組みづくりに取り組んでいきます。

(3) 市民と行政は、ゆるぎないパートナーとして協働して地域経営に取り組みます。

- 市民と行政はゆるぎないパートナーシップ（協働）により、地域経営に取り組みます。
- 市民と行政が一体となって、新市地域らしさ価値の共有化と向上を図っていきます。

